

(別紙4(2))

事業所名 : 認知症対応型グループホーム末吉

作成日 : 令和 4年 5月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害訓練は年2回実施しているが、今年度の1回目訓練が、前年度の実施から、1年近く間隔があいていた。	年2回、定期的な災害訓練の実施。	年間計画を年度初めには立てて実施する。 (日中・夜間・火災・災害の想定をし実施する)	2か月
2	36	個人情報保護方針、及び利用目的の掲示がされていなかった。	個人情報保護方針を掲示し、職員間での理解も深める。	個人情報保護方針の掲示とご家族・職員への周知。	1か月
3	26	チームで作る介護計画とモニタリングは、計画作成担当者が中心となり見直し等を行っている。計画の見直し等に対し、それぞれの利用者担当職員の主体性が弱いと感じている。	利用者担当職員が主体となり、チームとしての計画作成や見直しが実施される。	それぞれ職員に担当利用者を振り分ける。 モニタリングの際には、計画作成担当者と協働し、担当職員が中心となりカンファレンスを実施する。	10か月
4	51	コロナ禍は今後も続くと考えられる。面会制限もあり、家族と十分なコミュニケーションが取れない事で、利用者の精神的安定がはかれなくなったり、家族との関係性が希薄になる可能性が高い。	利用者と家族の関係性が保たれ、精神的に安定した毎日が過ごせる。	IT活用により、家族へ動画配信したり、お知らせメールのやり取りができるようにする。面会もテレビ電話を活用することで、会える機会を増やす。	6か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。